

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	宿毛市立咸陽小学校
授業者	和田 和也

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

砂浜清掃プロジェクト ～脇本の浜から宿毛湾の環境を考える～

#### 1-2. 学年

第6学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

6年生では、これまでの学年のまとめとして「海を守る」をテーマに活動を行った。沿岸に打ち上げられているゴミ問題等を探究していく中で、海は誰かが守ってくれるものではなく海を守るのは自分自身であるということを意識づけてきた。また、浜辺の清掃活動を通して、海に打ち上げられたゴミは自分達の生活と密接に関連していることを学んだ。専門家を招き説明を受けることで、現在の海洋問題であるマイクロプラスチックについて学習を深めた。食物連鎖の頂点に立つ人間にはどのような行動が求められるのかを考える機会となった。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

宿毛湾に打ち上げられるゴミを探究的に調べる活動を通して、身近な自然がおかれている現状や日本の海洋問題に関心を持つとともに、海と人とのつながりを考え、調べたことを整理したり、分類したりし、身近な海がおかれている環境を地域に発信していく力を育成するとともに、郷土（ここ）を守り継いでいこうとするとする態度を養う。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

【知識・技能】宿毛湾の自然環境は自分達の生活と密接に関係していることを理解する。

【思考・判断・表現】◆学習したことをふり返り、考えを整理するとともに自分の生活や地域の未来について考えようとしている。

◆情報収集から得た事実や関係を、比較、分類、整理、分析したり関連づけたりしながら理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけている。

【主体的に取り組む態度】自分と地域の関わりを考え、積極的に地域の活動に参加しようとしている。

1-7. 単元の展開（全50時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<p>○遠足で浜辺に打ち上げられたごみを集める。</p> <p>○自分たちの海はきれいなのか話し合う。</p>	<p>○遠足で行く脇本の浜のごみ拾いから、海の現状に目を向けさせる。</p> <p>○写真を撮っておき、映像を使って視覚にうったえるようにする。</p>
5	<p>○課題設定を行う。 「砂浜清掃プロジェクト」 ～脇本の浜から宿毛湾の環境を考える～</p> <p>○これからの活動計画を話し合う。</p>	<p>○地域の海を守るために自分たちにできることはな いかに焦点を当て課題を設定させる。</p> <p>○無理のない活動計画を立てる。</p>
15	<p>○地域の人と一緒に、脇本の浜の清掃活動を行 う。</p> <p>○集めたごみを分類する。 ・家庭からの生活ごみ 漁業関係のごみ 外国か らのごみ等</p>	<p>○漁業組合長、区長さん、市役所環境科に協力を依 頼する。</p> <p>○種類ごとに分類させる。</p> <p>○この体験から、なぜゴミが流れつくのか考えさせ る。</p>
13	<p>○これまでの宿毛湾の水質の変化について学ぶ。</p> <p>○海洋ゴミについてPCや新聞を使って調べる。</p>	<p>○グラフを用いて変化を確認する。</p> <p>○班ごとに調べるものを決め新聞やPCを使って調 べさせる。</p> <p>○マイクロプラスチックについても考えさせる。</p>
12	<p>○NPO法人の黒潮実感センター神田先生を招 き食物連鎖や海洋ごみについて学習する。</p> <p>○宿毛湾の水質改善、ごみを減少させる方法につ いて話し合う。</p>	<p>○自分たちで調べることができなかったことやもっ と深く知りたいことを専門家に質問させるようにす る。</p> <p>○これまでの話をもとに方法を考えさせる。</p>
3	<p>○総合的な学習発表会を通じて地域の人や保護 者に呼びかける。</p>	<p>○学習をまとめ、家庭から出るごみを減らすよう協 力を呼び掛ける。</p> <p>○これまでの海の学習の取り組みを説明させる。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

脇本の浜の清掃活動から、流れ着いたごみに関心を持ち、なぜゴミが流れつくのか探究していこうとする態度を養う。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1. これまでの学習を想起する。	
2. 清掃活動を行う上での注意事項を確認する。 ・手袋の使用、危険なものには触らない ・集めたごみの分類方法や廃棄方法	○安全に気を付けて実施することを伝える。 ○協力してくださる、協業組合の組合長さん、区長さん、市役所の方々を紹介する。
3. 浜辺の清掃活動を行う。	○ごみを集める場所を伝える。 ○ペアになって清掃させるようにする。
4. 集めたごみを分類する。 ・生活ごみが多いな。 ・漁業関係のものも多くあるよ。 ・プラスチックが意外とおおいよ。	○ごみの種類について注目させ、自分たちの生活や漁業と関係が深いことを考えさせる。 ○海洋問題であるマイクロプラスチックにつなげるため、プラスチック類について取り上げ考えさせる。
5. 今後の取り組みについて確認する。 ・ごみはどこから来たのかな。 ・このごみを減らしていきたいな。	○体験したことをもとに、ごみはどこから来たのか振り返り、このきれいになった浜を維持するためには自分たちの取り組みが必要であるという意識を持たせる。 ★体験をもとに、これから探究していこうという課題について考えている。

### 3. 今回の活動の自己評価

児童は、遠足でいった脇本の浜に、漁業道具やプラスチック、ビニル袋などの漂流物が余りにも多いことに疑問を抱いた。そして、脇本の浜の清掃活動を通してこのゴミは自分達の暮らしの中から出ているもので、原因は自分達にあることに気づいた。また、PCを使って調べ学習をしていく中で、世界中で問題となっているマイクロプラスチックの問題にも関心を抱くことができた。専門家を招き、海の中で起きていることについて詳しく知ることによって、環境という側面から自分達の海について見つめなおすことができたと感じている。

### 4. 今後の課題

今年度は、ゴミ問題を通して、地域の海の環境を見つめ直すことができた。来年度は、海外から漂着するゴミやプラスチックの問題から地域のみならず世界的な視点に子供達の視野を広げていくことが課題である。また、海を海洋として大きく捉え考えて行く視点やSDGs、ESDの視点も取り入れ学習を深めていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

◆児童の思考に沿いながら学習を展開したため年間計画とは若干の違いがある。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。